



【参加者募集】11/27(金) 第3回無料公開勉強会 「児童虐待予防の課題と可能性 ～ コロナ禍でも【自治体と住民】 が繋がり続けるためのオンライン支援」

NPO 法人きずなメール・プロジェクト（住所：東京都杉並区 代表理事：大島由起雄/以下、団体）は、児童虐待防止推進月間の取り組みとして、今年度も、団体主催の公開勉強会を、オンラインで開催いたします。

新型コロナウイルス感染症の影響で外出や人との接触が制限される中、児童虐待相談件数が増えるなど、妊娠・子育て家庭の孤立が懸念されています。このような中、全自治体共通の課題の一つに「対面支援ができない時でも【切れ目のない支援】を続けるためのオンライン体制の整備やノウハウ蓄積」があるのではないのでしょうか。

ご自身の自治体が持つ課題に対してどのような取り組みが効果的か考えるきっかけや、検討の機会にしていただけるよう、勉強会を開催します。

【開催概要】

- 日時：2020年11月27日（金）13時半～16時（途中参加・退場可能）
- 会場：Zoomによるオンライン開催

■内容：

- 1 中嶋愛一郎氏（国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター 研究員 精神科医）
 - ・ コロナ禍における子育て家庭のメンタルヘルス
 - ・ 父親の産後うつについて
 - ・ 精神科医からみた SNS 等のデジタルデバイスの課題と可能性
- 2 LINE 株式会社：公共政策室 兼保圭介氏
コロナ禍における自治体の LINE 利用状況の変化やこれから。
- 3 自治体のオンラインの子育て支援として、LINE やアプリなどを活用した先駆的取り組みを提供している 3 つの企業より、取り組みの特徴や自治体での運用事例紹介。
 - ・ transcosmos online communications 株式会社 南雲秀樹氏
 - ・ 株式会社ミラボ 谷川一也氏
 - ・ 株式会社エムティーアイ 若林和希氏

■参加対象者：母子保健、児童福祉、子ども・子育て支援に関わる行政職員、専門職、NPO 関係者、議員など

■お申込み：専用フォームからのお申込みが必要です (<https://questant.jp/q/3YGGZ38CG>)

■これまでの公開勉強会の開催レポート

▼2018 年公開勉強会レポート

【児童虐待予防の新たな課題と可能性について】 <https://www.kizunamail.com/news/7064/>

▼2019 年公開勉強会レポート

【民間と行政による連携から、孤独な子育てを防ぐために】 <https://www.kizunamail.com/news/9010/>

■NPO 法人 きずなメール・プロジェクトについて

NPO 法人きずなメール・プロジェクトは、2010 年 11 月 3 日（「いいお産の日」）に設立しました。「孤育て予防」をミッションに、「きずなメール」を活用した事業を自治体や医療機関に提供中。2020 年には、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター（NCNP）認知行動療法センターと「テキストメッセージングによる周産期の父親のメンタルヘルス向上のためのランダム化比較試験」共同研究を実施。

「伝える内容と伝え方」を工夫することで、子育て世帯の不安をやわらげ、親と子のきずなや夫婦間のきずな、地域とのつながりを強めて、妊娠・子育てにまつわる社会課題解消を目指しています。

・ 2020 年度 きずなメール 活用自治体：31

<https://www.kizunamail.com/read/>

【プレスリリース・取材に関するお問い合わせ先】

NPO 法人きずなメール・プロジェクト

担当：オノヘレ 電話 03-6317-5575 inquiry@kizuna-mail.jp

〒166-0001 東京都杉並区阿佐谷北 5 丁目 1-5-301